

支笏の初夏

栗山 高田 剛太

夏の風林を渡り湖にさざ波立てて彼の岸に消ゆ
チップ釣る小舟の揺れて鏡像の樽前の影かすかに歪む
湯上りのペランダで麦酒飲みおればわが頬撫でる花の香の風
露草を踏みしめ歩む森の朝遠くに聞こゆ郭公の声
太古より湛えし水の蒼くしてあなたの白き指も染まりて

チエジユ（済州）島

旭川 稻積 文子

チエジユ島のホテルは豪華な家具並びベッドより落ちて夜半に目が覚む
歴史村ではトイレの敷地に豚が居り用便の始末をする役目とは
ビビンバ・チジミ・味噌汁・どれも合わない韓国料理
一筋の理念を通す人居りて今の日本を守ってほしい
水芭蕉の群生の間を大雪の麓より清冽な水が流れる

野の花

江別 三宅 浩次

人住まぬ隣の家の裏庭に菫の花の小さく咲きぬ
踏まれてもまた踏まれても菫花野にありてこそ美しくあれ
豪華なる花束よりも一輪の菫の花に心動かす
大柄なパンジーもよしひそやかなる原種のままの小型種もよし
一斉にいつれの花も咲きいつる北国の春いつまで続く

迷 走

札幌 山口 康徳

道端に顔現はせし露の臺学生勤人駅向きひたすら進むを見る
国民のため暴走迷走おさへつつ外交内政に手腕発揮せよ
中国の威信をかけし万博はトップらの覇気日本に伝はる
国民の意気阻喪さす天変は政治の混乱戒しむる兆か
冷静に賢者の言聴きトップらは国民のため事をなすべし

北海道医歌人会詠草

網 走

札幌 古屋 統

嘉多山の囚人道路の碑を過ぎて網走湖畔さざなみ寒し
不景気が受刑者増やす網走の煉瓦の獄舎の淡き夕映え
刑務所に入ればメシに有り付ける志願犯罪密かに増えて
累犯の刑期計算したたかにムシヨ戻りするベテランもある
徳球も宮本顕治も名は褪せて脱獄五寸釘寅吉残る

桜ツアー

美唄 吉村 誠治

枝垂れ桜淡墨桜と咲き誇る桜めでつつツアー楽しむ
継体天皇の歌に詠まれし名桜は千五百年を村人守れり
杖つきて天守閣に登り来て満開の桜に疲れ忘れる
花冷えの根本中堂に登り来て床暖房に坐して拝めり
天守閣と桜と妻の入りたるスナップ写真をアルバムに残す

ヤチャナギ

札幌 浜島 泉

雪解けに水かさを増す川縁のヤチャナギの芽淡き着雪
この土手は分水嶺なり地下道へ行くもの溶けて川へ行く雪
スプリングコートに替へつ手袋は不似合ひなるも脱ぐに冷たし
先生と呼ばれ居ずまひ整へつ せん妄の中もと外科の医師
学友の訃報が届く粉雪が風に転がる四月の四日

ワルブルギスの夜

釧路 児玉 昌彦

後期高齢強者どものクラス会心停止からの生還談聞く
人それぞれ齢のとり方異なりて元氣ならざる者も各様
続けてた腎透析に力尽き運転も止め療養の日々
「老健に入所をした」と車椅子で出席の友 今年は見えず
血糖値今宵は忘れ宴に酔う明日から節制待つ身なれども